

小學初等作法書

西川文仲編

271
3
216

西川文仲編

第二級

小學初等作法書

教科書出版所
大藏屋書舗

小學初等作法書卷四

西川文仲編

○尊長。召を時ハ速ウふ起ち
て。おきよ應を廻。

○尊長より。物を賜ふ時ハ。つ
は志み。受く廻。

○物の。よーあーよ。拘ならざ。

必ず。大切よまへ。

○父母尊長の言ひつけよ。他ふ使ひよゆく時を。速うよ行き。歸らむ。直ぐよ。是を報む爲。

○父母長者の手紙あどを見らる處へ顔をさへ出ぐ

三。見るも。不敬あり。

○人の為めよ。使ひまくる時。手紙あらを。取り落とさざるやうよ。持ち行き。口上あらを。少くも。忘をざるやうよ。念を加ふ爲。

○朝おき。出では。直ぐよ。顔

竹法華經疏 卷四
三
を洗ひ。口をもぐぐ庵。口中の氣を人よ及ぼまハ。不敬ホリ。

- 髪を理め。湯をつうふおとを。嫌ふべからば。
- 身体の垢づきあるも。其身ふも。害ある。又人よ對一も。

無禮ある。

○家よありまむ。赤裸を戒む庵。

○便所を穢さざるやうよ。心がく庵。

○便所より出で、も必ず手を洗ふ庵。

○電信線。近き所よそ。石を投げ。風を揚ぐ庵からだ。

○往來繁き所よそ。おまを田さくべからだ。

○障子壁垣あどに落書を庵のらば。

作法書卷之四 終

明治十六年十二月廿八日 版權免許

正價金三錢

小學初等作法書

新撰小學書牘

初等修身書首卷

口授用

中等修身書

新撰小學地誌

學校用珠算書

猶續々出版

編者

滋賀縣士族

西川文仲

上京區第拾壹組真如堂前町草薙番地寄苗

京都府平氏

大黒屋太郎右衛門

上京區第世二組下丸屋町三番戸

出版人

京都河原町通二條下三町目

發賣所

教科書出版社
大黒屋書舗